

来週の「売り物」記事はこれ



2012年6月22日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

話題騒然！ 超大型読み物「S（ストーリー）」

沖縄戦の記憶、普天間基地問題…

辺野古の「人魚<ジュゴン>物語」 朝刊 24日（日）



日米関係に深々と突き刺さった普天間基地の移転問題。政府は移設先の候補地として、辺野古沖に白羽の矢を立て、東京ドーム36個分の海を埋め立てる計画を検討しているといいます。辺野古沖は多様な生物が生息する場所として知られる中、とりわけ有名なのは希少生物のジュゴン=写真=が生息しているとされる点でしょう。政府は沖



縄県に提出した環境アセスメント調査のなかで、「(滑走路建設の)影響はない」と判断を下していますが本当なののでしょうか。実は、それとは裏腹に、ジュゴンにとって厳しい事態が進行していることを、本紙記者はつかみました。沖縄の美しい海を舞台に繰り広げられる「種」の存亡の危機と、それを守ろうとする地元の人たちの姿。この地に刻まれた「戦争の記憶」……。ベテラン記者が丁寧に新事実を掘り起こしました。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

— Jリーグのベストシーズンは？ —

「月刊サッカー」で考える 26日（火）



Jリーグでは、「シーズン移行問題」が長年の懸案になっています。現在は、3月に開幕して年末に終了する「春秋制」を採用していますが、開幕を半年ほどずらした「秋春制」への移行案が強まってきました。早ければ2015年に実現する可能性があります。メリットは、日程の調整で日本代表が休養を取る時間が増えることなど。一方で、冬季対策として寒冷地のスタジアムを整備する必要があるなどの問題も多くあります。今年10月に決定されるのを前に、26日掲載の特集「月刊サッカー」で、論議の行方を掘り下げます。

リアル30's～変えてみる？

くらしナビA面25（月）～28日（木）

前週に続き、厳しい時代を生きる30代を取り上げます。「お金をゴールにすると何が大切かを見失ってしまう」「結婚は正社員みたいで嫌だ」「40、50代がスポットライトとすれば私たちは備長炭」……仕事や人間関係に悩みながらも、自分を見つめ新たな道を模索する彼らを紹介します。



動物写真コンテスト

くらしナビC面 26日(火)



毎日新聞の愛読者サイトによる第1回「まいまい動物写真コンテスト」が実施されました。イヌ、ネコから鳥、昆虫まで100点以上の写真が寄せられました。神社の祭事で騎手が落馬し、馬だけが疾走する様子を写したグランプリ作品など、上位入賞を果たした写真を中心に紹介します。

消費電力の見える住まい

くらしナビB面 28日(木)

今夏も節電が求められています。最近では、「今どれだけ電力を使っているか」が一目で分かるモニター機器の利用が進んでいます。三重県のある家庭では、親子そろってモニターを監視。エアコンや照明など無駄な使用を省き、光熱費が半額になったそうです。国の補助制度や自治体の無償貸し出しなども紹介します。



橋下大阪市長の特別顧問・参与約60人

「中之島48」は改革に不可欠？無駄遣い？

夕刊特集ワイド面 25日(月)



橋下大阪市長が集めた特別参与、特別顧問約60人は一自治体としては異例の多さ。ある自民党市議は市役所＝写真＝のある場所にひっかけて「中之島48」と揶揄する。特別顧問の面々には作家の堺屋太一氏、元経済産業省官僚の古賀茂明氏、慶應大教授の上山信一、前杉並区長の山田宏氏ら…。特別顧問で元横浜市長の中田宏氏は「行政に一人で乗り込んでいっても変わらない壁がある」と存在意義を語る。ちなみに、報酬は1日当たり2万2000円～5万5000円。一方、「市長は自分の仕事を特別顧問に任せている」「橋下さんは批判に耐えられないから、周囲に幾重の「弾よけ」が必要」という批判がある。